

東京都医療的ケア児支援者育成研修

東京都医療的ケア児コーディネーター養成研修

関係資料

医療的ケア児支援者育成研修・コーディネーター養成研修実施状況について

1 平成30年度東京都医療的ケア児支援者育成研修

目的

地域での支援に関わる関係機関職員に対し、医療的ケアが必要な障害児についての基本的な理解を促し、支援者として人材育成を図り、支援の拡大を図る。

受講状況

	申込数	1日目	2日目	受講者実数
第1回	146	121	118	125
第2回	136	118	126	127
合計	282	239	244	252

受講者の声（抜粋）

【訪問看護】

- 難しそう、大変そうというイメージが先行しているため、やりがいがあることを伝えながら一度取組んでみてもらうことが課題。
- 関わっている乳幼児が今後どのような問題に向き合うこととなるのかが分かったので参考にサポートしていきたい。
- 在宅生活の支援のためにどんなサービスがあって、どのような法律やサポートで守られているのかがわかり、全体像が見えたことが良かった。情報のアップデートができた。

【小児二次救急病院】

- 医療ケアというと医療処置という印象があるが、多くの講師が日常生活の一部であるとの話をしており、医療的ケア児にとってはごく普通の習慣ということに改めて気付かされた。

【行政障害福祉所管】

- 医療ケア児を支える制度、家族の実態、児に実際に関わっている現場の方の話を聞くことができ大変参考になった。医療的ケア児を支える家族に対する理解、家族の心身面の健康に対する配慮が重要であることを認識することができた。

2 平成30年度東京都医療的ケア児コーディネーター養成研修

目的

医療的ケア児の支援を総合調整する医療的ケア児コーディネーターを養成し、医療的ケア児が地域で安心して暮らしていくことができる体制を整備する。

受講状況

	申込数	受講者実数	講義+演習修了証書発行数
講義	144	95	52
演習		52	

※ 演習については、対応可能な人数を考慮し2回に分けての実施とし、30年度は1回のみ実施。

※ 修了証書は4日間すべての研修を修了した者に発行。

※ 都立小児総合医療センターに委託して実施。

受講者の声（抜粋）

- 医療的な知識、相談支援員としての心構え、福祉制度、当事者の立場について広く学べた貴重な機会となった。ここで出会った方々とネットワークを作り、仕事にいかしていきたい。
- 演習中に同じグループの人たちと意見交換をしながら計画を立てることができたので、自分以外の方たちの視点を知ることができたのは良い経験になった。
- グループワークでは、ほかの自治体の方、他職種の方と話ができ学びが多かった。とても良い研修となり支援者のネットワークづくりにもなった。
- 資源開発、地域への普及活動やネットワークを作り広げていく活動が早急に必要かと思った。
- 医療的知識が不足しているので、その点が不安。医療職の中でも福祉に理解がある方とそうでない方がいるので、連携がとれるか不安がある。
- 実際に身近な医療的ケアを担う提供者が不足している。医療と福祉の連携の難しさがある。相談支援の担当件数が増えず、対応が厳しい。

平成30年度東京都医療的ケア児支援者育成研修プログラム

講師		第1回		第2回	
時間	プログラム	平成31年2月12日(火曜日)	平成31年2月26日(火曜日)		
9:30 9:40	オリエンテーション	挨拶、事務連絡等	挨拶、事務連絡等		
9:40 12:00	医療的ケア児の理解	東京都立小児総合医療センター 在宅診療科 神経内科医長・総合診療科業務 雷田 直 氏	東京都立小児総合医療センター 小出 彩香 氏		
	昼食休憩				
13:15 14:15	医療的ケア児の支援の留意点	国立研究開発法人 国立成育医療研究センター 医療連携・患者支援センター 医療連携室 ソーシャルワーカー 佐藤 吉 氏	東京都立小児総合医療センター 子ども家族支援部門 心理福祉科 ソーシャルワーカー 間宮 規子 氏		
14:15 15:15	情報交換	受講者相互で情報交換	受講者相互で情報交換		
	休憩				
15:30 16:10	障害福祉サービス・障害児支援の体系	東京都福祉保健局障害者施策推進部 地域生活支援課 総合支援担当 課長代理 早水 宏樹 施設サービス支援課 児童福祉施設担当 課長代理 矢口 美枝	東京都福祉保健局障害者施策推進部 地域生活支援課 総合支援担当 課長代理 早水 宏樹 施設サービス支援課 児童福祉施設担当 課長代理 矢口 美枝		
16:10 16:30	東京都における医療的ケア児への支援	東京都福祉保健局障害者施策推進部 施設サービス支援課 在宅療養担当 課長代理 白木 きよみ	東京都福祉保健局障害者施策推進部 施設サービス支援課 在宅療養担当 課長代理 白木 きよみ		
	2日目				
9:30 10:35	医療的ケア児の地域生活を支える支援 1 福祉保健分野	大田区福祉保健局福祉課障害者支援担当 (計画・地域生活拠点整備) 課長 小野寺 修 氏 報告・羽田地域健康課健康事業係 主事 横田有希子 氏	八王子市福祉部障害者福祉課 主査 大野 訓子 氏 健康部保健対策課 課長補佐 片岡 幸子 氏		
10:50 12:00	医療的ケア児の地域生活を支える支援 2 訪問看護	公益財団法人日本訪問看護財団立 あすか山訪問看護ステーション 所長 田中 道子 氏	株式会社ラピオン 代表取締役 山の上ナースステーション 統括所長 柴田 三奈子 氏		
13:15 14:00	医療的ケア児の地域生活を支える支援 3 居宅介護	NPO法人かすみ草 ケアサポートかすみ草 代表 早野 節子 氏	NPO法人 グレースケア機構 副所長 加守田 久美 氏		
14:15 15:00	医療的ケア児の地域生活を支える支援 4 相談支援	社会福祉法人 全国重症心身障害児(者)を守る会 重症心身障害児療養相談センター 相談支援係 等々力 寿純 氏	社会福祉法人 足立邦栄会 相談支援センター みずき 管理者 岩崎 京子 氏		
15:15 16:15	医療的ケア児の地域生活を支える支援 5 児童発達支援等	障害児児育圏へレン経堂 園長 中村 七さわ 氏	医療社団法人 さいわいこどもクリニック ステップきつず 施設長 田中 寿美子 氏		
16:15 16:30	事務連絡	事務連絡	事務連絡		
	3日目				

平成30年度 東京都医療的ケア児支援者育成研修の御案内

東京都では、医療的ケア児への支援の輪が少しでも広がるよう、医療的ケア児の支援に関する基本的な理解を深めるための研修を行います。第一線で御活躍されている先生方からのお話を伺うチャンスです。医療的ケア児の支援に関係している方、これから支援に携わろうという方、どうぞこの機会を御活用ください。

※「要医療児者支援体制加算」の要件となる研修ではありません。

対象者

●医療的ケア児の支援に関係する以下の機関の職員の方

区市町村障害福祉・保健衛生部署 東京都保健所 八王子市保健所 町田市保健所
相談支援事業所 居宅介護事業所 訪問看護ステーション
児童発達支援事業所 放課後等デイサービス事業所 保育所 小児二次救急病院など

日時・定員等

●日時・定員

(第1回) 平成31年2月12日(火曜日)・13日(水曜日) : 200名 ※無料
(第2回) 平成31年2月26日(火曜日)・27日(水曜日) : 200名 ※無料

●会場 東京都医師会館 講堂 (JR・東京メトロ 御茶ノ水駅より徒歩約5分 ※裏面地図参照)

- ※ 同一のプログラムで2回実施しますので、参加を希望する回をお選びください。
- ※ プログラムの詳細は別紙のとおりです。
- ※ 申込定員を超過した場合は受講をお断りする場合がありますので、あらかじめ御了承ください。

申込方法

●東京共同電子申請・届出サービスでの申込 (下記URL又はスマートフォン用QRコードよりアクセス)

- ・申込期間 平成31年1月4日(金曜日) から1月18日(金曜日)まで
- ・利用者IDの登録は不要です。
- ・申込フォームに入力→システム到達メール受信→(申込締切後) 受付メール受信・研修受講可否確認の流れとなります。
- ・パソコンから申請される方は、「ポップアップブロックの設定」を必ず行ってください。
この設定を行わないと、申請状況の確認ができず、エラーになります。

<設定方法：例>

「Internet Explorer」→「ツール」→「インターネットオプション」→「プライバシー」→「ポップアップブロックの設定」
→「許可するWebサイトのアドレス」欄に「*.shinsei.elg-front.jp」を入力→許可されたサイト欄に表示されていることを確認→「閉じる」

※詳細は、東京共同電子申請サービスHPトップ→はじめて利用する方→動作環境について

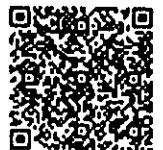
<申込URL・スマートフォン用QRコード>

パソコン用

<https://www.shinsei.elg-front.jp/tokyo/uketsuke/dform.do?id=1545098036178>

スマートフォン用

<https://www.shinsei.elg-front.jp/tokyo/uketsuke/sform.do?id=1545098036178>



注意事項

●受付について

- ・研修初日に「受講決定通知」を御提出ください。
- ・「受講決定通知」は、受付完了メールに記載されたURLから確認できますので、印刷してください。

●飲食について

- ・会場への飲み物の持ち込みは可能ですが、食事はできません。近隣の飲食店をご利用ください。
- ・ペットボトル等のごみは、各自お持ち帰りください。

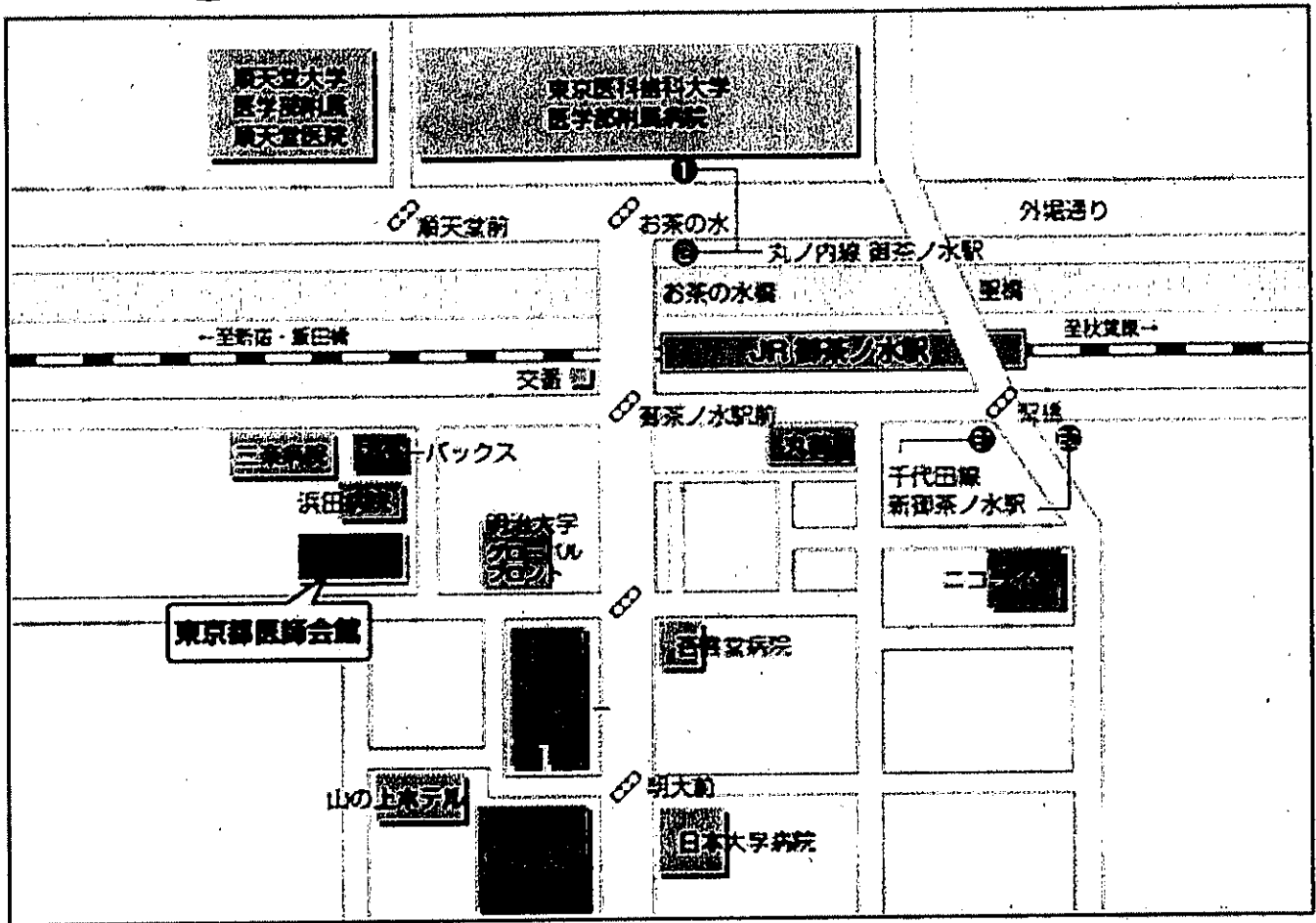
●欠席等の連絡

- ・裏面の担当宛に御連絡ください。会場への問合せはお控えください。

●その他

- ・2日間の受講を欠席なく修了された方に、修了証書を発行いたします。
- ・研修修了者は、御本人の了解のもと名簿に登載し、事業所所在地の障害福祉所管部署に情報提供させていただきます。

会場案内



●研修会場

東京都千代田区神田駿河台2-5

JR中央・総武線 御茶ノ水駅 徒歩約2分
 東京メトロ丸ノ内線 御茶ノ水駅 徒歩約4分

東京メトロ千代田線 新御茶ノ水駅 徒歩約5分

<問合せ先>

東京都福祉保健局障害者施策推進部
 施設サービス支援課 療育担当

☎ 03-5320-4360 (直通)
 FAX 03-5388-1407

平成30年10月10日
東京都福祉保健局障害者施策推進部
東京都立小児総合医療センター

東京都医療的ケア児コーディネーター養成研修 研修案内

1 実施目的

人工呼吸器を装着している障害児や日常生活において経管栄養やたんの吸引等の医療的ケアが必要な障害児（以下、「医療的ケア児」という。）の支援を総合調整する医療的ケア児コーディネーターを養成し、医療的ケア児が地域で安心して暮らしていくことができる体制を整備することを目的とする。

2 実施主体

東京都福祉保健局

委託先：東京都立小児総合医療センター

3 受講対象者

相談支援専門員、保健師等、今後、地域において医療的ケア児の支援を総合調整するコーディネーターの役割を担う予定のある者

※ 演習については、講義を受講した者のうち、以下に該当する者を対象とします。

- ① 相談支援事業所において相談支援専門員として従事している者
- ② 保健師等、今後、地域においてコーディネーターの役割を担う者

4 実施内容

・厚生労働省の運営要領（平成29年4月3日付障障児発0403第1号「医療的ケア児等コーディネーター養成研修等事業の実施について」）に定められているカリキュラムに沿った内容であり、サービス等利用計画・障害児支援利用計画の策定（演習）を含みます。（別紙「研修プログラム」のとおり。）

・全日程を欠席なく終了した方には修了証書を交付します。

5 実施日時

- | | | | | |
|-------|----|----------|----------|--------------|
| ・第1日目 | 講義 | 平成30年12月 | 9日（日） | 9時00分～18時10分 |
| ・第2日目 | 講義 | 平成30年12月 | 10日（月） | 9時00分～18時20分 |
| ・第3日目 | 演習 | 平成31年 | 1月13日（日） | 9時00分～17時45分 |
| ・第4日目 | 演習 | 平成31年 | 1月14日（月） | 9時00分～17時30分 |

6 受講定員

- ・講義（2日間） 100人程度
- ・演習（2日間） 50人程度

7 実施場所

東京都立小児総合医療センター 1階 講堂フォレスト
東京都府中市武蔵台2-8-29

8 受講申込方法及び受講決定

- ・ 10月22日(月曜日)までに東京都共同電子申請・届出サービスで申し込んでください。
〈東京都共同電子申請・届出サービスへのアクセス〉

URL : <https://www.shinsei.elg-front.jp/tokyo/uketsuke/dform.do?id=1538540164649>

QRコード:



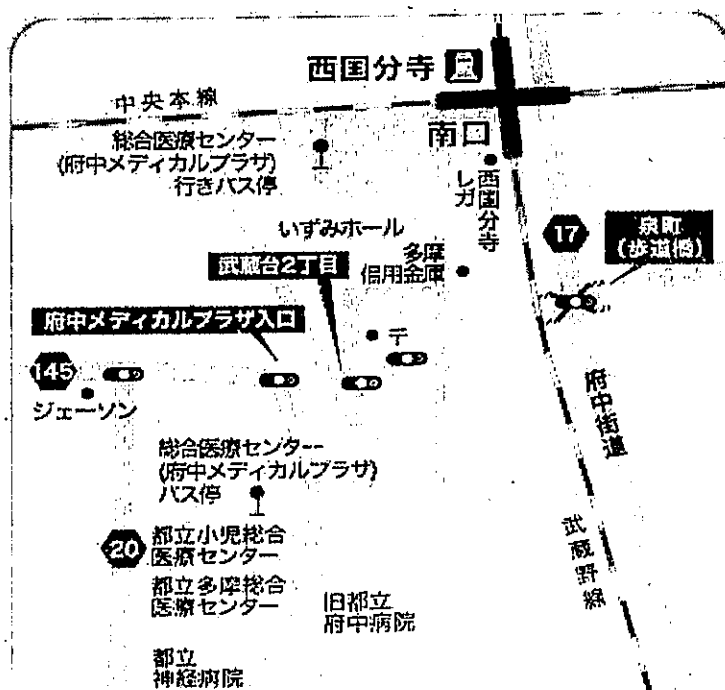
利用者IDの登録は不要です。

当研修のお知らせは東京都福祉保健局のホームページにも掲載予定です。

- ・ 申込は事業所ごとに行ってください。申込人数は各事業者1名までとさせていただきます。必ず、「講義+演習」か「講義のみ」を記入してください。
- ・ 申込人数が受講定員を超過した場合には、受講者の調整を行いますので、受講をお断りする場合があります。また、受講定員の関係で、今年度は講義のみしか受講をお受けできない場合がありますが、講義の受講歴は記録として残ります。
- ・ 受講の可否を11月中旬に東京都共同電子申請・届出サービスの入力フォームに記入のあった事業所等のメールアドレス宛に連絡します。

9 交通案内

東京都立小児総合医療センター
住所：東京都府中市武蔵台2-8-29
電話番号：042-300-5111



※お越しの際は、公共交通機関をご利用ください。

<電車・バスでの行き方>

JR 中央線・武蔵野線 西国分寺駅	徒歩 15 分
	総合医療センター(府中メディカルプラザ)行きバス または西府駅行きバスで 5 分 「総合医療センター(府中メディカルプラザ)」下車
JR 中央線「国立」駅	5 番乗り場から府中駅行きバスで 10 分 「総合医療センター(府中メディカルプラザ)」下車
JR 中央線「国分寺」駅	総合医療センター(府中メディカルプラザ)行きバスで 13 分 「総合医療センター(府中メディカルプラザ)」下車 ※交通状況によって所要時間が前後する場合がございます ので、時間に余裕をもってお越しください。
京王線「府中」駅	4 番乗り場から国立駅行きバスまたは 総合医療センター(府中メディカルプラザ)行きバスで 20 分 「総合医療センター(府中メディカルプラザ)」下車
JR 南武線「西府」駅	西国分寺行きバスで 20 分 「総合医療センター(府中メディカルプラザ)」下車 ※1 時間 1 本のみですので、利用の際はご注意ください。

<担当>

○ (委託先) 東京都立小児総合医療センター 事務局庶務課 企画担当
電話 042-300-5111 (内3415)

※ 本研修は東京都からの委託により東京都立小児総合医療センターが実施するものです。

平成30年度 東京都 医療的ケア児コーディネーター養成研修プログラム

◎ 講義

日程	時間	時間	研修内容	講師	
12/9 (日)	9:00~9:15	15分	○挨拶 ○研修オリエンテーション		
	9:15~12:00 ※休憩15分 含む	60分	○総論	・医療的ケア児の地域生活を支えるために ・基本的で重要な用語の説明 ・医療的ケア児コーディネーターに求められる資質と役割	小児総合医療センター 医師 冨田直氏
		90分	○医療	・医療的ケア児の発達と特徴 ・医療的ケアの内容の説明 ・地域における医療資源とその活用の仕方	
			○ライフステージにおける支援	・NICUとPICUからの在宅移行支援	
	12:00~12:50	50分	昼 食		
	12:50~14:50	30分	○医療	・訪問看護・訪問リハビリの制度	小児総合医療センター 看護部 森越初美氏 瀬戸真由里氏
		60分	○本人・家族の思いの理解	・本人・家族の思い	
		30分		・緩和医療を必要とする児の場合	
	14:50~15:00	10分	休 憩		
	15:00~17:00	120分	○本人・家族の思いの理解	・意思決定支援 ・ニーズアセスメント ・ニーズ把握事例	小児総合医療センター 心理福祉科 間宮規子氏
○福祉			・児を受容できない親への対応 ・虐待		
17:00~17:10	10分	休 憩			
17:10~18:10	30分	○福祉	・東京都における医療的ケア児の支援策について	東京都福祉保健局障害者施策推進部 重症心身障害児等在宅療育支援センター 西部訪問看護事業部	
	30分		・東京都在宅重症心身障害児(者)等訪問事業について		
12/10 (月)	9:00~10:30	90分	○医療	・代表的な疾患の特徴・経過・特性・生理 ・急性期時や救急対応時の特色について	小児総合医療センター 医師 太田さやか氏
	10:30~10:40	10分	休 憩		
	10:40~12:10	90分	○福祉	・支援の基本的枠組み ・医療的ケア児の福祉の制度 ・家族支援	社会福祉法人 全国重症心身障害児(者)を守る会 重症心身障害児療育相談センター 等々力壽純氏
	12:10~13:00	50分	昼 食		
	13:00~15:00	120分	○ライフステージにおける支援	・各ライフステージにおける相談支援に必要な視点 ・児童期における支援 ・学齢期における支援 ・成人期における支援 ・医療的ケアの必要性が高い子供への支援	(株)スペースなる 梶原厚子氏
			○福祉	・遊び・保育の観点の重要性	
	15:00~15:10	10分	休 憩		
	15:10~16:10	60分	○支援体制整備	・支援チーム作りと支援体制整備/支援チームを育てる ・支援体制整備事例 ・医療、福祉、教育の連携 ・地域の資源開拓・創出方法	社会福祉法人足立邦栄会 相談支援センターみずき 若崎京子氏
16:10~16:20	10分	休 憩			
16:20~18:20	120分	○計画作成のポイント	・演習に向けた計画作成のポイント	北九州市立総合療育センター 横田信也氏	

◎ 演習

日程	時間	時間	研修内容	講師	
1/13 (日)	9:00~9:15	15分	○オリエンテーション		
	9:15~17:45	7時間	○演習 (計画作成)	・事例をもとにした計画作成の演習	小児総合医療センター 医師 冨田直氏
1/14 (月・祝)	9:00~17:30	7時間	○演習 (事例検討)	・事例をもとに、意見交換・スーパーバイザーによる計画作成の指導	※他、ファシリテーター調整中